

令和8年度 外国人留学生 入学試験要項

各入学試験の実施内容を変更する場合があります。

変更する場合は決定次第、本学ホームページなどで周知しますのでご注意ください。

〔個人情報の取り扱いについて〕

本学は、提出していただいた書類につきまして、重要な個人情報として十分留意し取り扱います。

なお、業務の必要上、入学試験の受付および実施に関わる業務の一部を第三者に委託する場合があります。この場合、機密保持契約の締結等により、個人情報が不適切に取り扱われないように、委託先を管理します。

また、出願書類に記載していただいた連絡先や、証明書等の発行元に、内容確認等のため連絡する場合がありますので、ご了承ください。

出願書類はこちらからダウンロードしてください

☆外国人留学生身上調書（全3枚）

☆自己申告書（全3枚）

ASIA University 2026

亜細亜大学

問い合わせ先

入試部 アドミッションセンター
TEL 0422-36-3273

最後まで説明をしっかりと読み、わからないことは問い合わせてください。

Contents

Ⅰ 入試について

Ⅱ 出願・受験について

出願手続

ビザ（査証）・在留資格

Ⅲ 資料編

〈出願書類〉

- ・ 外国人留学生身上調書（全3枚）
- ・ 自己申告書（全3枚）

TOP

目 次

卒業認定・学位授与の方針
／入学者受入れの方針

入試について

出願・受験について

資料編

卒業認定・学位授与の方針／入学者受入れの方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大学	亜細亜大学（以下「本学」という。）は、教育理念「多様な夢に挑戦し、アジアの未来に飛躍する人材を育成する」、及び、それを具体化した「教育の基本方針」（*）に基づき、建学の精神「自助協力」を体得し、各学部の学位プログラムを修め、厳格な成績評価のもと、卒業に必要な単位を修得し、各自の「個性値」を伸ばし、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。	
	1. 幅広い教養と高度な専門知識・技能を身につけ、柔軟に活用できる。 2. グローバルな視点から世界の諸文化を理解し、その多様性を尊重できる。 3. 他者と協力して、より良い社会の形成に能動的に貢献できる。 4. 目標を定め、自らのキャリアを形成し、生涯にわたって学びの姿勢を持続できる。 *「教育の基本方針」とは「国際社会で貢献できる有為な人材の育成」「人間性重視の教育」「新しい社会を創り出す創造力あふれる人材の育成」の三つです。	
経営学部	経営学科	経営学部経営学科（以下「本学科」という。）の教育課程において所定の単位を修得し、広い意味での「実学」、すなわち、経営学の専門知識とその実践的活用を通してマネジメントを行う能力を修得した学生に学位を授与します。具体的には、本学のディプロマ・ポリシーに加えてさらに次のような能力を修得した学生に学位を授与します。
	ホスピタリティ・マネジメント学科	経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科（以下「本学科」という。）の教育課程において所定の単位を修得し、ホスピタリティ・ビジネスに関する専門知識と技能を身につけ、実務の遂行力+マネジメント能力+ホスピタリティマインドの3つの能力を修得した学生に学位を授与します。具体的には、本学のディプロマ・ポリシーに加えて、次のような能力を修得した学生に学位を授与します。
経済学部	経済学科	経済学部（以下「本学部」という。）の教育課程において、所定の単位を修得し、以下のような能力を身につけた学生に学位を授与します。
	法学部	法学部（以下「本学部」という。）は、本学部の学位プログラムを修め、厳格な成績評価のもと、卒業に必要な単位を修得し、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。
国際関係学部	国際関係学科	国際関係学部国際関係学科（以下「本学科」という。）は、建学の精神「自助協力」に基づき、国際社会の平和と発展に貢献する人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の要件を満たす学生に学位を授与します。
	多文化コミュニケーション学科	国際関係学部多文化コミュニケーション学科（以下「本学科」という。）は、建学の精神「自助協力」に基づき、アジアをはじめとする世界諸地域における多文化間の交流と対話を促進できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の要件を満たす学生に学位を授与します。
社会学部	現代社会学科	社会学部現代社会学科（以下「本学科」という。）は、建学の精神「自助協力」を体得し、学部が定める卒業要件を満たし、現代社会の課題解決に関する専門知識・技能を修得し、次のような能力・資質を備えた人物に学位「学士（社会学）」を授与する。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

大学	本学は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、以下のような人が国内外から本学に入学することを期待しています。特に、本学の教育理念「多様な夢に挑戦し、アジアの未来に飛躍する人材を育成する」に共感し、建学の精神「自助協力」を体得しようとする志（こころざし）を持つ人を歓迎します。 そのために各学部学科において多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。 - 希望する学部学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得している。 - 身の回りの社会的現象から、自ら問題を発見し、自ら考え、自ら判断し、説明することができる。 - 本学で学ぶ4年間で、自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持つ。 - 多様な社会・文化について関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有する。 - 大学で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会のために活かしたいという意欲がある。	
	本学科は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、ビジネス社会への関心が高く、グローバルな環境で活躍することや将来広くビジネス社会で働くことを希望している、次のような人を求めます。そのために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。 - 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得している。 - 高等学校における学習を通じて、論理的思考力、コミュニケーション能力を身につけている。 - 高等学校において資格・技能を獲得するなどさまざまな活動に参加しており、本学科で学ぶ4年間においても自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持って多様な活動に積極的に参加できる。 - 多様な社会・文化について関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有する。 - 本学科で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会と自己のキャリア形成に活かしたいという意欲がある。	
経営学部	経営学科	本学科は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、ホスピタリティ・ビジネスおよび経営学、会計学、マーケティング、インプレッションそれぞれへの深い興味と関心を持ち、将来はホスピタリティ・ビジネスに従事したいという明確な目的意識を有す 次のような人を求めます。 - 本学科の教育内容が理解できるように高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得し、大学生活においてさまざまな活動にも積極的に参加する意欲がある。 - ホスピタリティ・ビジネスや経営学、会計学、マーケティング、インプレッションに深い興味と関心を有する。 - 将来ホスピタリティ・ビジネスに従事したいという明確な目的意識を有する。 - 学習意欲、探究心、チャレンジ精神、自発性、協調性、及び不屈の精神を有する。 - 人と接することが好きで、ホスピタリティマインドの要素、論理的思考力、コミュニケーション能力を有する。 - 将来のキャリアに対する明確な目的意識や意欲、適性を持つ。 - 本学科で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会のために活かしたいという意欲がある。
	ホスピタリティ・マネジメント学科	本学部は、経済社会の諸問題に対する強い関心を持ち、経済学および幅広い教養を獲得しようとする高い学習意欲を持ち、将来は日本と世界の経済社会を担うことを目指す人を広く求めます。具体的には、以下のような能力・資質を持った人材を求めています。 - 知識・理解——経済や社会の諸現象を分析し、理解するための基礎学力と一般教養を十分に修得している。 - 思考力・判断力——経済や社会に関する事柄について報告や討論するための基本的な理解力・伝達力を身につけている。 - 関心・意欲——経済学を中心とした幅広い知識の獲得を通して、自らを成長させたいという目的意識を持つ。 - 関心・意欲——スポーツ、文化的活動、ボランティア活動、資格取得、留学など大学内外の活動を通じて、多様な視点から経済社会について学び考える姿勢がある。 - 関心・意欲——経済や社会の諸現象の問題解決に自ら取り組んでみようという意欲を持つ。
経済学部	経済学科	本学部は、ディプロマ・ポリシーで挙げた知識・能力・態度を持つ人材を育成するために、次のような資質を持った人が、広く全国から、またアジアを中心に世界各国から入学してくることを期待しています。特に、本学部の伝統を理解し、これを未来に伝えるとともに、未知への挑戦を恐れず、新たな伝統を形成する積極性を持つ人を歓迎します。 そのために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。 - 法学部の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程における国語や外国語（英語）、地理歴史、公民などの基礎的な学力を修得している。 - わが国の法や政治に関心を有し、本学部で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会のために活かしたいという意欲がある。 - 学業のみならず、幅広い経験を通じて、社会の出来事から問題を発見し、自ら思考、判断し、行動へと結びつけることができる。 - 社会・公共への広い関心を有し、自分と異なる意見にも耳を傾け、対話することのできる柔軟な精神を持っている。 - 本学部で学ぶ4年間で、自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持つ。
法学部	法律学科	本学部は、ディプロマ・ポリシーで示されるような人材を育成するために、以下のような人が広く国内外から本学に入学することを期待します。 - 国際社会の動向に強い関心を持っている。 - 社会科学を学ぶにあたっての前提となる知識、特に地歴・公民に属する科目をしっかりと学習している。 - 報告、討論、レポート作成に必要な日本語能力を身につけている。 - 英語を、読み、書き、聞き、話す基礎的な能力を身につけている。 - 外国語、特に英語の学習に高い意欲を持ち、将来国際的な職種での活躍を希望している。 - 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程を通じて基礎的な知識・技能を修得している。 - 多様な価値観を尊重する態度を身につけ、明確な目的意識を持って積極的かつ主体的に学びを深めていこうとする姿勢を有する。
	国際関係学部	本学科では、ディプロマ・ポリシーに示されるような人材を育成するために、以下のような人が広く国内外から本学科に入学することを期待します。 - アジアをはじめ世界各国の社会・文化・言語に、そして多文化間交流に強い関心を持っている。 - 多文化間交流を学ぶにあたっての前提となる知識、特に地歴・公民に属する科目をしっかりと学習している。 - 報告、討論、レポート作成に必要な日本語能力を身につけている。 - 英語を、読み、書き、聞き、話す基礎的な能力を身につけている。 - 英語及びアジア諸言語の学習に高い意欲を持ち、将来国際的な職種での活躍を希望している。 - 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程を通じて基礎的な知識・技能を修得している。 - 多様な価値観を尊重する態度を身につけ、明確な目的意識を持って積極的かつ主体的に学びを深めていこうとする姿勢を有する。
国際関係学部	国際関係学科	本学科では、ディプロマ・ポリシーに示されるような人材を育成するために、以下のような人が広く国内外から本学科に入学することを期待します。 - アジアをはじめ世界各国の社会・文化・言語に、そして多文化間交流に強い関心を持っている。 - 多文化間交流を学ぶにあたっての前提となる知識、特に地歴・公民に属する科目をしっかりと学習している。 - 報告、討論、レポート作成に必要な日本語能力を身につけている。 - 英語を、読み、書き、聞き、話す基礎的な能力を身につけている。 - 英語及びアジア諸言語の学習に高い意欲を持ち、将来国際的な職種での活躍を希望している。 - 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程を通じて基礎的な知識・技能を修得している。 - 多様な価値観を尊重する態度を身につけ、明確な目的意識を持って積極的かつ主体的に学びを深めていこうとする姿勢を有する。
	多文化コミュニケーション学科	本学科では、ディプロマ・ポリシーに示されるような人材を育成するために、以下のような人が広く国内外から本学科に入学することを期待します。 - アジアをはじめ世界各国の社会・文化・言語に、そして多文化間交流に強い関心を持っている。 - 多文化間交流を学ぶにあたっての前提となる知識、特に地歴・公民に属する科目をしっかりと学習している。 - 報告、討論、レポート作成に必要な日本語能力を身につけている。 - 英語を、読み、書き、聞き、話す基礎的な能力を身につけている。 - 英語及びアジア諸言語の学習に高い意欲を持ち、将来国際的な職種での活躍を希望している。 - 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程を通じて基礎的な知識・技能を修得している。 - 多様な価値観を尊重する態度を身につけ、明確な目的意識を持って積極的かつ主体的に学びを深めていこうとする姿勢を有する。
社会学部	現代社会学科	本学科では、現代社会の諸課題に積極的に取り組み、その解決を図るという観点から、ディプロマ・ポリシーに示した知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、次に掲げるような人が広く国内外から入学することを期待している。 - 現代社会学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得している。 - 現代社会について深い関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有している。 - 現代社会学科で学ぶ4年間で、知識を豊かにし、自らの見識やスキルを向上させようという意欲を持っている。 - 現代社会の諸課題解決のために、現代社会学科で学ぶ知識・技能・態度を活かしたいと考えている。

TOP

目 次

卒業認定・学位授与の方針
／入学者受入れの方針

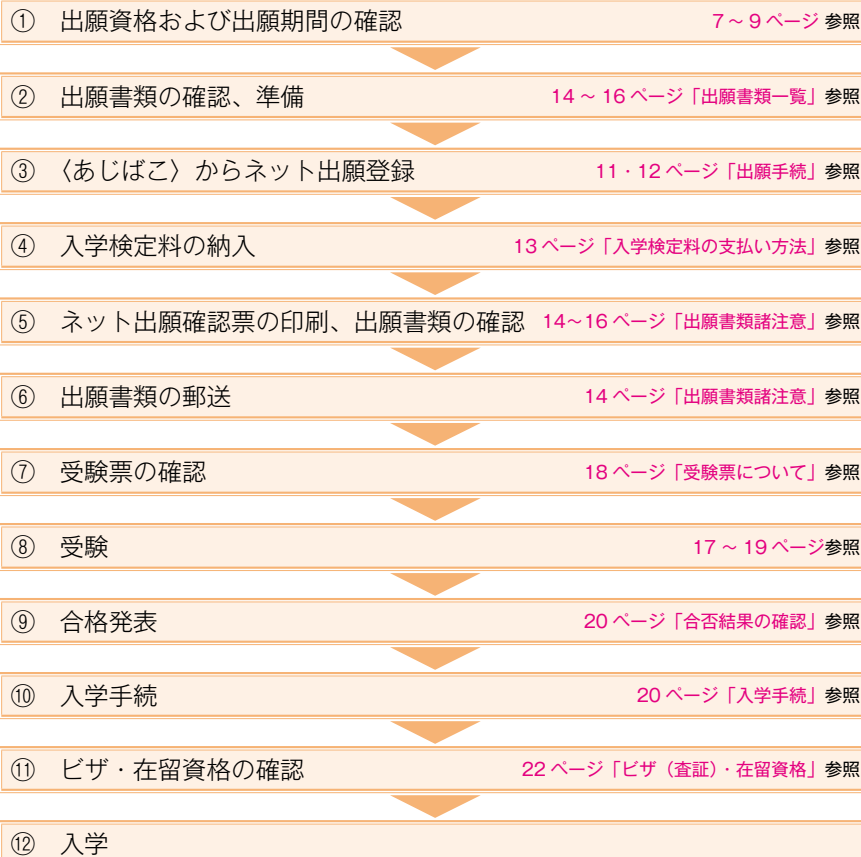
入試について

出願・受験について

資料編

入試について

出願から入学まで



入試日程一覧

		A 方式 (本学独自入試)	B 方式 (EJU 利用入試)	C 方式 (渡日前入試)
出願期間		令和 7(2025)年 9 月 3 日 (水) ～ 9 月 12 日 (金)	令和 7(2025)年 11 月 5 日 (水) ～ 11 月 12 日 (水)	令和 7(2025)年 9 月 3 日 (水) ～ 9 月 12 日 (金)
試験日		令和 7(2025)年 11 月 16 日 (日)	令和 8(2026)年 1 月 11 日 (日)	書類審査
合格発表		令和 7(2025)年 11 月 25 日 (火)	令和 8(2026)年 1 月 19 日 (月)	令和 7(2025)年 10 月 27 日 (月)
入学手続 ※ 1	第 1 次 ※ 2	令和 7(2025)年 11 月 25 日 (火) ～ 12 月 5 日 (金)	令和 8(2026)年 1 月 19 日 (月) ～ 1 月 26 日 (月)	令和 7(2025)年 10 月 27 日 (月) ～ 11 月 10 日 (月) ^{※ 4}
	第 2 次 ※ 3	令和 8(2026)年 2 月 16 日 (月) ～ 2 月 20 日 (金)	令和 8(2026)年 2 月 16 日 (月) ～ 2 月 20 日 (金)	

※ 1 入学手続期間の延長は認めません。海外から入学手続をする場合には、第 1 次入学手続期間内にすべての入学手続を一括して行ってください。詳細は合格発表時に案内します。

※ 2 入学金の納入、入学手続書類の送付とあじばこ上で必要事項の登録を行ってください。

※ 3 春学期分授業料等の納入が必要です。

※ 4 留学生入試 C 方式は一括手続となります。入学金、春学期分授業料等の納入、入学手続書類の送付、あじばこ上で必要事項の登録を期間内に行ってください。

外国人留学生出願資格

●外国の国籍を有し、次の1～5いずれかの条件に該当する者

※なお、下記の●注意事項の条件をすべて満たすこと

1. 外国において、日本国以外の学校教育における12年の課程を修了した者および令和8（2026）年3月31日までに修了見込みの者
2. 1に準ずる者で、外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者および令和8（2026）年3月31日までに合格見込みの者で令和8（2026）年3月31日までに18歳に達する者
3. 1に準ずる者で、外国における高校に対応する学校の課程を修了し、日本国文部科学大臣が指定した準備教育課程（もしくは研修施設の課程）を修了した者および令和8（2026）年3月31日までに修了見込みの者
4. 1に準ずる者で、日本国文部科学大臣が指定した高等学校に対応する外国の学校の課程を修了した者および令和8（2026）年3月31日までに修了見込みの者
5. 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、またはGCEAレベルを取得した者および令和8（2026）年3月31日までに取得見込みの者

※日本国文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験の合格者は含めない

●注意事項

1. 学校教育における12年の課程の中で、日本国の初等・中等教育課程の学校に在学した期間が通算2年以内であり、かつ卒業した高等学校が日本国以外の学校であること
2. 日本国の大学・短期大学（科目等履修生、聴講、別科を除く）に在籍したことがないこと
3. 学校教育における12年の課程の中で、日本国内に設置された日本国以外の教育制度による学校において日本国の初等・中等教育課程に相当する課程に在学した期間が通算2年以内であること

※ただし、外国人留学生入試C方式は、出願時に日本国外に居住していること

入試日程・選抜方法

A方式（本学独自入試）

〈あじばこ〉内〈あじばこプラス〉及び公式サイトに過去3年分の過去問題を掲載しています。

募 集 人 員	経営学部 経営学科…………… 10名 経済学部 経済学科…………… 若干名 法学部 法律学科…………… 若干名 国際関係学部 国際関係学科…………… 若干名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科… 若干名 社会学部 現代社会学科…………… 若干名																								
選 抜 方 法	経営学部 経営学科 (1)日本語（筆記） (2)面接 (3)書類審査 経済学部・法学部・国際関係学部・社会学部 (1)日本語（筆記） (2)英語 (3)面接 (4)書類審査																								
出 願 期 間	令和7(2025)年9月3日(水)～9月12日(金) ※出願書類の郵送は締切日消印有効																								
入 学 検 定 料	32,000円 (13ページを参照し、出願期間内に納入してください)																								
試 験 日	令和7(2025)年11月16日(日)																								
試 験 会 場	本学（武蔵野キャンパス）																								
試 験 時 間 割	経営学部 経営学科 <table><tr><td>集 合</td><td>▶</td><td>日 本 語</td><td>▶</td><td>面 接</td></tr><tr><td>9 : 0 0</td><td></td><td>9 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0</td><td></td><td>1 1 : 0 0 ~</td></tr></table> 経済学部・法学部・国際関係学部・社会学部 <table><tr><td>集 合</td><td>▶</td><td>日 本 語</td><td>▶</td><td>英 語</td><td>▶</td><td>面 接</td></tr><tr><td>9 : 0 0</td><td></td><td>9 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0</td><td></td><td>1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0</td><td></td><td>1 3 : 0 0 ~</td></tr></table>	集 合	▶	日 本 語	▶	面 接	9 : 0 0		9 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0		1 1 : 0 0 ~	集 合	▶	日 本 語	▶	英 語	▶	面 接	9 : 0 0		9 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0		1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0		1 3 : 0 0 ~
集 合	▶	日 本 語	▶	面 接																					
9 : 0 0		9 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0		1 1 : 0 0 ~																					
集 合	▶	日 本 語	▶	英 語	▶	面 接																			
9 : 0 0		9 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0		1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0		1 3 : 0 0 ~																			
合 格 発 表	令和7(2025)年11月25日(火) (20ページ参照)																								

B方式（EJU利用入試）

〈あじばこ〉内〈あじばこプラス〉及び公式サイトに過去3年分の過去問題を掲載しています。

募 集 人 員	経営学部 経営学科…………… 7名 経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科…………… 若干名 経済学部 経済学科…………… 若干名 法学部 法律学科…………… 若干名 国際関係学部 国際関係学科…………… 若干名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科…………… 若干名 社会学部 現代社会学科…………… 若干名										
選 抜 方 法	(1)日本語 令和7(2025)年6月または11月に実施の「日本留学試験(EJU)一科目(日本語)」の試験結果 (2)英語 (3)面接 (4)書類審査										
出 願 期 間	令和7(2025)年11月5日(水)～11月12日(水) ※出願書類の郵送は締切日消印有効										
入 学 検 定 料	32,000円 (13ページを参照し、出願期間内に納入してください)										
試 験 日	令和8(2026)年1月11日(日)										
試 験 会 場	本学(武蔵野キャンパス)										
試 験 時 間 割	<table><tr><td>集 合</td><td>▶</td><td>英 語</td><td>▶</td><td>面 接</td></tr><tr><td>9 : 00</td><td></td><td>9 : 30 ~ 10 : 30</td><td></td><td>11 : 00 ~</td></tr></table>	集 合	▶	英 語	▶	面 接	9 : 00		9 : 30 ~ 10 : 30		11 : 00 ~
集 合	▶	英 語	▶	面 接							
9 : 00		9 : 30 ~ 10 : 30		11 : 00 ~							
合 格 発 表	令和8(2026)年1月19日(月) (20ページ参照)										

C方式 (渡日前入試)

※出願時に日本国外に居住されている方のみ出願可能

募集人員	経営学部 経営学科……………若干名 経済学部 経済学科……………若干名 法学部 法律学科……………若干名 国際関係学部 国際関係学科……………若干名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科……………若干名 社会学部 現代社会学科……………若干名
選抜方法	(1)日本語 次の①、②のいずれかを利用 ① 令和7(2025)年6月に実施の「日本留学試験(EJU)一科目(日本語)」の試験結果 ② 令和6(2024)年7月、12月、令和7(2025)年7月に実施の「日本語能力試験(JLPT)」の試験結果 (2)英語 次の①、②のいずれかを利用 ① 令和5(2023)年4月から出願期間に提出できるTOEFL®テストの結果 ② 令和5(2023)年4月から出願期間に提出できるIELTSテストの結果 (3)書類審査
出願期間	令和7(2025)年9月3日(水)～9月12日(金) ※出願時に日本国外に居住されている方のみ出願可能 ※出願書類の郵送は締切日消印有効
入学検定料	14,000円 (13ページを参照し、出願期間内に納入してください)
試験日	書類審査のみ
合格発表	令和7(2025)年10月27日(月) (20ページ参照)

以降のページでは、以下のように表記している場合があります。

[A方式(本学独自入試)] …… A方式

[B方式(EJU利用入試)] …… B方式

[C方式(渡日前入試)] …… C方式

出願・受験について

出願手続

ビザ（査証）・在留資格

出願手続

I. 出願について

本学はネット出願を導入しています。詳しい出願方法は[次ページのⅡ. ネット出願申し込み手順](#)で確認してください。

注意事項

- (1)出願期間は、入試制度により異なりますので、各入試のページでしっかりと確認してください。出願期間を過ぎた出願書類は受け付けできません。
- (2)A方式およびB方式志願者で日本国外から出願を行う場合、出願登録を始める前に入試部アドミッションセンターに連絡してください。
- (3)出願はインターネットでの出願登録と入学検定料の納入および出願書類の郵送をもって完了となります。
- (4)入学検定料を納入しなかったり、出願手続きに不備がある場合には受験できなくなることがあります。
入学検定料の納入状況や出願書類の大学への到着状況は、〈あじばこ〉の [\[出願内容の確認・受験票の印刷\]](#) ボタンから確認できます。
- (5)出願が確定した後は入試制度、学部・学科の変更は認めませんので、登録の際はしっかりと確認してください。
- (6)出願書類を郵送する前に、必ず入学検定料を納入してください。入学検定料の支払方法については、[13ページ](#)を参照してください。
- (7)一旦受理した出願書類及び入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、次の①～③に該当する場合は入学検定料を返還します。
 - ①入学検定料を納入したが出願書類を提出しなかった場合
 - ②出願資格を満たさず、出願が受理されなかった場合
 - ③納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合返還手続き方法や手続期限についての詳細は[コチラ](#)をご確認ください。
- (8)受験票は、オンラインで発行します。[18ページ](#)を参照してください。
- (9)A方式内およびB方式内の併願受験はできません。
- (10)出願後に転居などのために住所を変更した場合は、必ず入試部アドミッションセンターに連絡をしたうえで最寄りの郵便局に「転居届」を提出してください。
また、連絡先電話番号を変更した場合も、必ず入試部アドミッションセンターに連絡してください。
- (11)受験の際、特別な配慮を必要とする場合は、[17ページ](#)を参照してください。
- (12)インターネット環境がない志願者の方は、入試部アドミッションセンターに問い合わせてください。

問い合わせ先

入試部 アドミッションセンター TEL：0422-36-3273

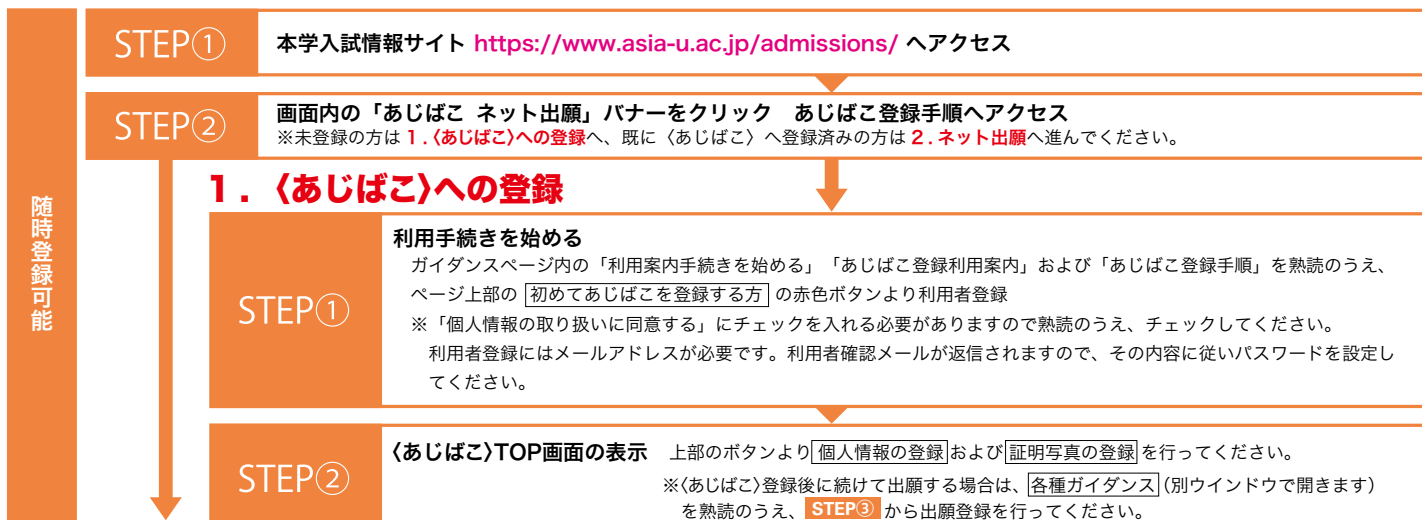
メール：nyushi@asia-u.ac.jp

出願書類に虚偽の申告があると判断した場合は、出願を認めません。合格発表後に判明した場合でも合格および入学許可を取り消します。また、一旦受理した出願書類および入学検定料等の経費は一切返還しません。

II. ネット出願申し込み手順

出願をするためには〈あじばこ〉への登録が必要となります。下記手順に従って手続きを進めてください。

はじめに



2. ネット出願



Ⅳ. 出願書類一覧 下記「Ⅴ. 出願書類諸注意」を必ず読んでください。

出 願 書 類		A方式 (本学独自入試)	B方式 (EJU利用入試)	C方式 (渡日前入試)
(1)	ネット出願確認票、宛名ラベル	○	○	○
(2)	外国人留学生身上調書（ こちらからダウンロードしてください 全3枚）	○	○	○
(3)	自己申告書（ こちらからダウンロードしてください 全3枚）	○	○	○
(4)	出身高校および大学等の卒業証明書（原本）	○	○	○
(5)	卒業證書（赤色の本型のもの）のコピー（中国の学校を卒業した方のみ）	○	○	○
(6)	出身高校および大学等の各学年度別成績証明書（原本）	○	○	○
(7)	日本語学校・留学生別科等の出席証明書（原本）	○	○	○
(8)	a.『日本留学試験』受験票または成績確認書のコピー	—	○	○ (a.b.のいずれか)
	b.「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（原本）		—	
(9)	a. TOEFL [®] Test Score Report（本書をETS事務局から本学へ送付）	—	—	○ (a.b.のいずれか)
	b. IELTS Test Report Form（本書をIELTSテストセンターから本学へ送付）			
(10)	パスポートのコピー	○	○	○
(11)	在留カードのコピー（両面）	○	○	○

Ⅴ. 出願書類諸注意

1. 本学所定の用紙はすべてA4サイズで印刷し、すべて揃えたうえで、市販の角2封筒を使用し郵送してください。
2. 出願書類は、すべて黒色ボールペンまたはペンで記入してください。（消えないもの）
3. 日本国内から出願する場合は、出願期間内に最寄りの郵便局から「簡易書留・速達郵便」で郵送してください（締切日消印有効）。大学の窓口では出願書類を受け取りません。
4. 日本国外から出願する場合は、出願締切日までに本学へ到着するよう「EMS（Express Mail Service）」などで送ってください。**また、出願書類の追跡ができるお問い合わせ番号等を入試部アドミッションセンターに連絡してください。**
5. 証明書の原本を提出することができない場合は、出願期間前に入試部アドミッションセンターに問い合わせてください。
6. 原則として出願書類の追加提出は認めません。
7. 本学所定用紙の記入に際して、特に指示のない限り日本語で書いてください。
8. 氏名等が違う証明書などを提出する場合は、本人のものであることを証明する書類もあわせて提出してください。

(1)	ネット出願確認票、宛名ラベル (本学所定用紙)	①A方式・B方式・C方式とも、〈あじばこ〉での出願登録が完了すると「ネット出願確認票」「ネット出願確認票(控)」「宛名ラベル」のダウンロードが可能となります。「宛名ラベル」は封筒の表面に貼り付け、「ネット出願確認票」とその他の出願書類を郵送してください。「ネット出願確認票(控)」は本人控えとして、大切に保管してください。
(2)	外国人留学生身上調書 全3枚 (本学所定用紙)	①A方式・B方式・C方式すべて共通の用紙を使います。上記出願書類一覧よりダウンロードしてください。 ②「受験方式」、「志願する学部・学科」欄は、ネット出願確認票と同一のものを○で囲んでください。 ③必要項目はすべて自筆で記入してください。
(3)	自己申告書 全3枚 (本学所定用紙)	①A方式・B方式・C方式すべて共通の用紙を使います。上記出願書類一覧よりダウンロードしてください。 ②自分の長所やこれまで活動したこと、本学で学びたいこと、日本への留学に期待していることなどを必ず自筆、日本語で書いてください。
(4)	出身高校および大学等の卒業証明書 (原本) 右欄の注1参照	卒業証明書(Graduation Certificate)または「Certified True Copy」（原本から正しく複製されたものであることが証明されているコピー）の原本(Original)を必ず提出してください。証明書の原本を提出することができない場合、出願期間前に入試部アドミッションセンターに問い合わせてください。 ① 母国語または英語で記載されているものを必ず提出してください。 ※日本語で作成された卒業証明書は認めません。 ② 母国語が中国語または英語以外の言語の場合には、日本語もしくは英語の訳文を必ず添付してください。 ③大学、短期大学を卒業している場合は、その卒業証明書も提出してください。 ④高校を卒業せず修了した者は、大学検定試験合格の証明書を提出してください。 （例）台湾の場合は、「資格証明書」・「結業証明書」の両方を提出してください。 ⑤証明書は、令和7(2025)年4月以降に発行されたものを提出してください。 ⑥提出された証明書は、いかなる理由があっても返却しません。 ⑦出願資格確認のため、高校・大学などの卒業が確認できる証明書(卒業証書)や、修了証明書の原本確認をさせていただく場合があります。 注1：中国の学校を卒業した方は、証明書を「公証書」にしないでください。
(5)	卒業證書のコピー (中国の学校を卒業した方のみ)	中国の学校を卒業した方は卒業證書(赤色の本型のもの)のコピーを提出してください。原本ではなく、コピーの送付で構いませんが、内面の内容がわかるコピーを提出してください。

〔注1〕 本学所定用紙の記入に際して、特に指示のない限り日本語で書いてください。
〔注2〕 氏名等が違う証明書などを提出する場合は、本人のものであることを証明する書類もあわせて提出してください。

VI. 出身国・地域別必要証明書類

- (1) 以下は、本学が出願資格を確認するために必要な証明書類です。ここに書かれていない国・地域の出身で自分の出願資格が不明な場合、出願前に必ず入試部アドミッションセンターに問い合わせてください。
- (2) 母国語または英語で記載されているものを必ず提出してください。※日本語で作成された卒業証明書や成績証明書は認めません。
- (3) 母国語が中国語または英語以外の言語の場合には、日本語もしくは英語の訳文を必ず添付してください。
※各証明書は原本または「Certified True Copy」（原本から正しく複製されたものであることが証明されているコピー）の原本を必ず提出してください。証明書の原本を提出することができない場合、出願期間前に入試部アドミッションセンターに問い合わせてください。

	卒業を証明する書類	成績を証明する書類
中 国	高級中学の卒業証明書 ※職工、業余大学等を含まずに12年の普通教育を修了していること。 ※提出時には、卒業證書（赤色の本型のもの）のコピーもあわせて提出が必要です。	高級中学3年間の成績証明書 ※「普通高等学校招生全国统一考试」を受験した者は、その成績証明書（コピー可。受験していない場合は不要）
韓 国	高校卒業証明書 大学検定試験の合格証明書	高校3年間の成績証明書 大学検定試験結果（証明書）
台 湾	高級中学の卒業証明書 結業証明書と資格証明書	高級中学3年間の成績証明書 補校3年間の成績証明書
ベトナム	高校卒業証書	高校3年間の成績表
マレーシア	Form 6（Lower 6以上）の修了証明書 独立中学（高校）の卒業証明書	Form 4・5・6の成績証明書 独立中学（高校）の成績証明書
インドネシア	高校卒業証明書	高校3年間の成績証明書 大学入学統一試験結果
タ イ	高校卒業証明書	高校3年間の成績証明書
フィリピン	college以上の卒業・修了証明書	college以上の成績証明書
バングラデシュ	Higher Secondary School Certificateとその成績証明書 ※ハイスクール、カレッジの卒業証明書・成績証明書も提出することが望ましい。	
アメリカ	高校卒業証明書	Grade 10・11・12の成績証明書
イギリス	GCE、GCSEの結果（GCE Aレベル2科目以上を合格していること）と12年以上の教育課程修了を証明するもの	
国際バカロレア資格	国際バカロレア資格証明書	最終試験6科目の結果

問い合わせ先

入試部 アドミッションセンター TEL：0422-36-3273 メール：nyushi@asia-u.ac.jp

受験の際特別な配慮を必要とする場合

病気や障がい等のために、入学試験の受験時に配慮を希望する場合は、必ず受験を予定している入学試験の出願期間開始日の1ヶ月前までに本学アドミッションセンターへ申請を行ってください。

申請内容に基づいて状況に応じた配慮を行います。ご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。

なお、申請が入学試験の可否に影響することはありません。

受験上の配慮申請から配慮内容決定までの流れ

- (1) 受験を予定している入学試験の出願期間開始日の1ヶ月前までに申請書類を揃え、本学アドミッションセンターまでご提出ください。
- (2) 本学にて申請書類を受理後、申請内容・書類を基に審査を行い、配慮内容を決定いたします。
- (3) 配慮内容が決定次第、「受験相談申請書」に記載いただいた連絡先へご連絡をいたします。

申請方法

・申請書類の郵送

ホームページの「3. 申請書類」に明記されている書類を準備し、受験を予定している入学試験の出願期間開始日の1ヶ月前までに本学アドミッションセンターへ郵送（簡易書留またはレターパック）してください。

申請に係る留意事項

- (1) 申請期限（出願期間開始日の1ヶ月前）までに申請がなかった場合、受験上の配慮ができない場合があります。ただし、不慮の事故や急な発病等のために、やむを得ず上記の期限までに申請ができなかった場合については、可能な限り速やかにアドミッションセンターへ問い合わせてください。
- (2) 申請書類は、希望する配慮について確認するためのものであり、可否判定とは一切関係ありません。
- (3) 申請内容に基づいて、障がい者の種類・程度に応じた配慮事項を決定します。
ただし、希望される配慮すべてに対応できるとは限りませんので、予めご了承ください。
- (4) 申請書類に記載された受験上の配慮希望について、内容確認のため、本学アドミッションセンターよりご連絡させていただく場合がございます。
- (5) 受験上の配慮については、学外会場を設置する入学試験の場合も原則として本学会場（武蔵野キャンパス）での受験になります。
- (6) 提出していただいた申請書類の情報につきまして、重要な個人情報として充分留意し取扱い、受験上の配慮事項の調整、入学後の修学支援の目的で、入学試験関係部署、学生支援関係部署と共有しますが、それ以外の目的で使用することはありません。
また、申請書類に記載していただいた連絡先や、証明書等の発行先に、内容確認等のため連絡する場合がありますので、予めご了承ください。

詳細は[コチラ](#)をご確認ください。

受験票について

受験票はオンラインで発行します。大学から送付しません。下記を確認のうえ、受験票を取得してください。

受験票の発行と試験当日の持参について

受験票は大学での出願書類確認後、受験する入試方式ごとにそれぞれ1枚ずつ発行します。

〈あじばこ〉(<https://exam-entry.52school.com/asia-u/mp/session/create>) にログイン後、出願内容の確認、受験票の印刷を選択し、A4サイズの用紙に印刷のうえ、試験当日に持参してください。(カラー・白黒は問いません)

当日受験する入試方式を確認のうえ、該当の受験票を必ず持参してください。

※試験当日の3日前までに確認できない場合は、入試部アドミッションセンターに問い合わせてください。

C方式については受験票を発行しません。出願書類確認後、受験番号を公開しますので、合格発表日の1週間前までに必ず確認してください。



あじばこはこちら

受験上の注意

- (1)試験当日の試験場の開門時刻は午前8時30分です。
- (2)試験開始の前に出欠確認を行いますので、集合時刻までに所定の席に着席してください。
- (3)試験当日は、出願時のネット出願確認票の写真と同様の容姿(髪型・眼鏡等)で受験してください。
- (4)試験会場に入室してから試験が終了するまでは、退室を認めません。
- (5)黒鉛筆(削ったもの数本)とプラスチック製の消しゴムを必ず持参してください。
- (6)辞書付時計、英文の印刷されている衣服や文房具類等は使用できません。
- (7)試験当日は、大学内の食堂は営業しません。昼食は各自で持参してください。
- (8)昼食会場はありません。必要な方は自席でおとりください。
- (9)駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してください。
- (10)受験時の試験室は、試験当日に試験場で確認してください。
- (11)大学・駅周辺において、チラシ配布などの勧誘業者がいる場合がありますが、本学とは一切関係ありません。

試験時間中の注意事項

- (1)試験時間中は監督者の指示に従ってください。
- (2)試験時間中の途中退室は認めません。試験時間中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には挙手をして監督者の指示に従ってください。なお、一時退室した場合でも試験時間の延長は認めません。
- (3)監督者の指示が聞き取れないことがありますので、「耳せん」は使用できません。
- (4)携帯電話等は、試験室に入る前に必ずアラーム設定を解除して電源を切って、かばん等に入れてください。携帯電話、時計等の機器が音(着信・アラーム・振動音など)を発した場合、持ち主の同意なく監督者が該当機器やそれが入っているかばん等を試験室の外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。また、これらの音は不正行為とみなされることがあります。
- (5)文字や地図がプリントされている衣服は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。
- (6)試験時間中に日常的な生活騒音等(監督者の巡視による足音、監督業務に必要な打ち合わせなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置は講じません。
- (7)試験時間中に机の上に置けるものは以下の通りです。これ以外のものは置くことができません。

受験票 黒鉛筆 (HB) シャープペンシル (芯ケース除く) プラスチック消しゴム 鉛筆削り (電動・大型・ナイフ類除く)	時計※ 眼鏡 目薬 ハンカチ (無地) ハンドタオル (無地) ティッシュペーパー (袋から取り出したもの)
---	---

※時計は腕時計型端末等の通信機能があるもの、辞書や電卓等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは使用できません。

●座布団、ひざ掛けについては、監督者に申し出のうえ、許可を受けて使用することができます(監督者が確認の結果、使用できない場合があります)。なお、座布団、ひざ掛けは無地のものに限りません。

不正行為について

受験に際して、以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為となった場合には、当日の入学試験の全教科に加え、出願した本学の本年度入学試験すべての教科の得点を無効とし、それ以後の受験もできません。既に合格した本学の入学試験がある場合、合格を取り消します。この場合も入学検定料の返還は行いません。

- (1)カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- (2)使用を認められていない用具を使用すること。
- (3)解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
- (4)解答終了の指示に従わず、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- (5)試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
- (6)試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末や携帯音楽プレーヤー、イヤホン等を身に付けていたり、かばん等にしまわないこと。
- (7)試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴動させるなど、試験の進行に影響を与えること。
- (8)試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (9)試験室において、試験監督者、係員等の指示に従わないこと。
- (10)試験室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (11)志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- (12)試験終了後、解答用紙を提出しないこと。
- (13)その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験当日に交通機関の乱れが生じている場合について

試験当日、雪などの天候不良や事故、地震などの影響により、交通機関に乱れが生じている場合でも、まずは試験場に向かってください。試験場への主要交通機関の遅延などにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと大学が判断した場合には、試験開始時刻を繰り下げることがあります。詳細については、対応が決定次第、〈あじばこ〉に随時掲載しますので、各自で確認してください。

〈あじばこ〉(<https://exam-entry.52school.com/asia-u/mp/session/create>)



▲
あじばこはこちら

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症への対応について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等に感染する恐れがあるため、受験をご遠慮願います。当該理由により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の措置や入学検定料の返還は行いません。

合否結果の確認

各入学試験の合否結果は、〈あじばこ〉での確認となります。インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等で確認できます。

〈あじばこ〉にログイン後、画面の指示に従い、必ず確認してください。

画面での合格確認ができましたら、入学手続へ進んでください。

合格者には合格通知書を合格発表日に速達で発送しますが、合格発表日は必ずしも手元に合格通知書が到着する日ではありません。

なお、不合格通知は送付しません。

利用上の注意

- 本システムの「誤操作」「見間違い」などを理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- 合格発表直後はアクセスが集中することが予想され、一時的に本システムにつながりにくくなる場合があります。
- 本学への合否結果等に関する問い合わせには応じられません。受験生以外の方が本システムを利用する場合は、必要事項をあらかじめ本人に確認のうえ、利用してください。

本学ホームページ「入試情報サイト」から
〈あじばこ〉へログインし、**合格発表**を選択

<https://exam-entry.52school.com/asia-u/mp/>



合 格 発 表	
A方式（本学独自入試）	2025年11月25日（火）9：00～
B方式（EJU利用入試）	2026年1月19日（月）9：00～
C方式（渡日前入試）	2025年10月27日（月）9：00～

入学手続

合格者は入学手続期間内に〈あじばこ〉内の「入学の手引き」で手続方法を確認のうえ、入学手続を行ってください。

なお、学校納入金は以下の支払方法があります。詳細は「入学の手引き」でご確認ください。

①銀行窓口 ②銀行ATM ③インターネットバンキング ④クレジットカード ⑤Pay-easy（ペイジー）

入学手続期間は入試方式によって異なりますので、**6ページ**の入試日程一覧で確認してください。

A方式 B方式

I. 第1次入学手続

- (1) 入学金納入
- (2) 〈あじばこ〉「入学手続」で必要事項の登録
- (3) 入学手続書類の提出
 - ①受験生本人の住民票
※日本国外在住の場合は、来日後に提出していただきます。
 - ②誓約書などの提出書類
〔注意〕日本国外在住の場合は、在留資格「留学」を早期に取得するために、「在留資格認定証明書交付申請書」の「所属機関等作成用書類」を早く受領する必要があります。
そのために第1次手続期間内に第2次手続を含むすべての入学手続を一括して行ってください。
詳細については、合格者に対して合格通知送付時に連絡します。

II. 第2次入学手続

- (1) 春学期分授業料等納入

C方式

C方式で合格した方は、一括手続となります。

上記の第1次入学手続と第2次入学手続、それぞれの手続きを手続期間内に一括で行ってください。

初年度学校納入金【予定】

※金額は予定額であり、変更する場合があります。
2026年度学校納入金は、9月中旬に決定します。

(単位：円)

種 別	学 部	経営学部	経済学部	法学部	国際関係学部	社会学部
入 学 金		150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
授 業 料	春学期	430,000	430,000	430,000	450,000	450,000
	秋学期	430,000	430,000	430,000	450,000	450,000
施 設 設 備 料	春学期	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
	秋学期	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
学 友 会 費	入会金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	年会費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
学生健康保険 組 合 費	入会金	500	500	500	500	500
	組合費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
後 援 会 費		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
合 計	春学期	736,000	736,000	736,000	756,000	756,000
	秋学期	560,000 (302,000)	560,000 (302,000)	560,000 (302,000)	580,000 (310,000)	580,000 (310,000)
	年 額	1,296,000 (1,038,000)	1,296,000 (1,038,000)	1,296,000 (1,038,000)	1,336,000 (1,066,000)	1,336,000 (1,066,000)

※（ ）内は、外国人留学生（在留資格が「留学」）で、30%の授業料減免措置を受けられた場合の納入額です。
授業料減免対象者は、申請書類を学内で審査し、決定されます。入学初年度の減免率は一律30%です。2年
目以降の減免率は、前年度の成績に応じて最大15%です。詳細は、入学後に説明します。

●留学にかかる費用

亜細亜大学アメリカプログラム（AUAP）、亜細亜大学アジアスタディーズプログラム（AUASP）、亜細亜大学韓国プログラム（AUKP）、亜細亜大学グローバルプログラム（AUGP）に参加する学生は、学校納入金の他に、留学費用の全額を出発前までに別途納入していただきます。外国人留学生は留学費用の納入とビザ（査証）の取得が条件となります。

- ・ AUAPは、本学独自の約5か月間のアメリカ留学プログラムです。
- ・ AUASPは、選抜型の約5か月間のマレーシア留学プログラムです。
- ・ AUKPは、本学協定校への約5か月間の韓国留学プログラムです。
- ・ AUGPは、春季・夏季の休暇を利用した短期単位認定型留学プログラムです。

参加費用や留学先の詳細については、大学ホームページ（<https://www.asia-u.ac.jp/international/>）にて確認してください。

特待生制度

入試方式	選抜方法・人数・特典	
A方式 B方式	1. 選抜方法および人数	各学部とも各方式合格者のうち成績上位者（経営学部2名以内、経済学部・法学部・国際関係学部・社会学部若干名）で、所定の入学手続期間内に入学手続を完了した者は特待生として認定する。
	2. 特典	(1) 入学金および当該年度の授業料を免除する。 (2) 2年次以降も前年度の学業成績が当該学部の上位5%以内であるときは、各学部教授会の意思を聴いて、継続して特待生として認定し、授業料を免除する。

ビザ（査証）・在留資格

I. 受験のための入国について

A方式・B方式の受験生は、本学武蔵野キャンパスで実施する入学試験を受けなければなりません。

日本国外在住者が受験する場合は、「短期滞在」ビザなどで来日してください。

また、日本国外在住の合格者に対しては、入学手続、在留資格認定証明書交付申請、ビザ（査証）の取得等来日のための諸手続の詳細について、別途直接連絡します。

II. 在留資格「留学」について

亜細亜大学で、外国人留学生に対するサービス（授業料減免、奨学金受給、大学によるアパートの連帯保証人制度など）を受けるためには、在留資格「留学」を有していなければなりません。

大学へ入学した場合、入学後は時間の余裕がなくなりますので、**4月30日以前**に在留期間が満了する学生は、在留資格「留学」への在留資格変更や在留期間更新許可申請手続を3月までに行ってください。

（1）現在、在留資格「留学」の方

東京出入国在留管理局で「在留期間更新許可申請」手続を行ってください。本学からは、入学手続完了後、「在留期間更新許可申請書」の「所属機関等作成用書類」などを発行します。（詳細は合格後の「入学の手引き」参照）

なお、「在留期間更新許可申請」は在留期限の3か月前から申請できます。

（2）現在、在留資格「留学」以外の方

在留資格「留学」への変更が必要な場合は、その手続きについて必ず東京出入国在留管理局に問い合わせてください。

III. 「在留資格認定証明書（Certificate of Eligibility）」

（1）現在、在留資格「短期滞在」で日本に滞在している場合

①入学式（4月上旬）に出席するため、3月下旬までに在留資格「留学」を取得できるように、「第1・2次入学手続（すべての入学手続）」を行ってください。

②「在留資格認定証明書交付申請」を東京出入国在留管理局で行ってください。

③「在留資格認定証明書」が発行されたら、東京出入国在留管理局で「在留資格変更許可申請」を行ってください。

※「短期滞在」の在留期間中に「在留資格認定証明書」が交付されない場合は、必ず帰国して（2）－②③の手続を行ってください。

※「短期滞在」から「留学」への「在留資格変更許可申請」は、特殊な事情がある場合のみの対応となります。

（2）現在、在留資格を持たずに日本以外に居住している場合

①入学式（4月上旬）に出席するため、3月下旬までに在留資格「留学」を取得できるように、「第1・2次入学手続（すべての入学手続）」を行ってください。

②「在留資格認定証明書交付申請」を行ってください。

③「在留資格認定証明書」が発行されたら、在外公館で留学ビザを申請してください。

④来日後、空港で「在留カード」を受領し、住居地が決まったら市・区役所、町・村役場で「住居地の届出」を行ってください。

※「在留資格認定証明書」の申請から交付までには、通常2～3か月必要です。

※「在留資格認定証明書」の交付申請は、本人の他、在日親族、学費負担者、大学職員が行うことも可能ですので、日本以外に居住していても申請できます。

※手続に関する詳細は、東京出入国在留管理局へ直接問い合わせてください。

外国人留学生の中で、東京出入国在留管理局が、在留資格変更、在留期間更新を認めないケースが過去にありました。合格した場合には、早めに東京出入国在留管理局に在留資格変更、在留期間更新について確認してください。

資料編

過去の入試結果

				A方式				B方式				C方式			
				2025年度		2024年度		2025年度		2024年度		2025年度		2024年度	
				志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格
経営学	営	学	部	71	20	98	12	11	4	11	4	0	0	0	0
経営学	営	学	部	—	—	—	—	1	0	2	0	—	—	—	—
ホスピタリティ・マネジメント			学科												
経済学	済	学	部	15	5	21	8	7	2	4	1	0	0	1	1
法学	学	部	部	4	3	4	1	0	0	1	1	1	1	0	0
国際関係学	関	係	学	4	1	7	1	3	3	3	1	0	0	0	0
国際関係学	関	係	学	8	0	1	0	9	3	6	3	0	0	0	0
多文化コミュニケーション			学科												
社会学	会	学	部	39	1			6	1			0	0		
現代社会学	代	学	部												
合計				141	30	131	22	37	13	27	10	1	1	1	1

※ホスピタリティ・マネジメント学科はB方式のみ実施。
※社会学部は2025年4月開設のため、2024年度の入試結果は無し。

過去問題について

本学の過去問題は〈あじばこ〉内の〈あじばこプラス〉及び公式サイトで公開しています。
〈あじばこ〉にログイン後、トップ画面左上の〈あじばこプラス〉のバナーから、「過去問アーカイブス」で確認してください。
なお、解答については公開しておりません。

学生生活

本学では、創設以来の理念である「アジア地域への貢献」を果たすべく、アジアからの留学生を中心に、世界各国からの留学生を積極的に受け入れています。
大学、大学院、留学生別科（日本の大学進学を目的とした日本語教育機関）の学生たちが同じキャンパスで学んでいます。
その中で約230名の留学生が在籍しており、学内交流イベントや地域市民グループとの交流会などの活動を通して、日常生活の中で異文化への理解を深めることができる場となっています。
すべての留学生が「留学生会」に所属しており、国際交流パーティー、キャンプ、学園祭への参加、留学生弁論大会など、年間を通してイベントで活発な交流が行われています。

《2025年度国籍・地域別外国人留学生数（総数228名）》

（2025年4月現在）

国籍・地域	人数	国籍・地域	人数	国籍・地域	人数	国籍・地域	人数
インドネシア	4	台湾	4	マレーシア	5	ケニア	1
ウズベキスタン	1	中国	108	ミャンマー	12	ロシア	1
カンボジア	4	中国（香港）	2	モンゴル	1		
韓国	3	フィリピン	3	トルコ	1		
タイ	12	ベトナム	65	バーレーン	1		

授業 [2026年度(予定)]

※2025年5月時点の情報です。カリキュラムの見直しにより変更となる可能性があります。

1 留学生のための特別科目

1年次生や2年次生の時に日本語能力と日本についての知識を高めるために、留学生を対象とした科目やクラスを開設しており、外国人留学生が本学で学修するうえで、有益なカリキュラム編成となっています。

●日本語

経営学部経営学科、社会学部は8科目、経済学部、法学部、国際関係学部国際関係学科は10科目、国際関係学部多文化コミュニケーション学科は14科目を必修科目として開設しています。なお、選択科目として、2年次に「中上級日本語Ⅰ～Ⅳ」、上級日本語Ⅰ・Ⅱ、3年次に「上級日本語Ⅲ・Ⅳ」も開設しています。

●専門科目

国際関係学部多文化コミュニケーション学科では、「地域言語（日本語）初級Ⅰ～Ⅵ」を必修科目として開設しています。

●全学共通科目

各学部で、選択科目として、「日本史Ⅰ・Ⅱ」2科目で留学生クラスを開設しています。

経営学部では「文章表現」（経営学科：選択必修科目、ホスピタリティ・マネジメント学科：選択科目）、さらに経営学科では、「オリエンテーション・ゼミナール」（1年次必修科目）で、留学生クラスを開設しています。

2 英語

グローバル社会に対応するべく意思疎通を図る手段としての英語力を身に付けることを目指し、実践的な英語学習を中心とするクラス「Freshman EnglishⅠ・Ⅱ」を開講しています。授業はネイティブ・スピーカー教員によるコミュニケーション能力、特に聴解力、会話力の向上を目的とした内容です。レベル別にクラス分けが行われるので習熟度にあったクラスで受講できます。

外国人留学生を対象とする奨学金 [前年度実績]

※奨学金は、在留資格「留学」が条件である場合がほとんどです。選考は、学業成績等が基準となっています。

●亜細亜大学独自の奨学金

亜細亜学園私費外国人留学生奨学金／東急奨学金（外国人留学生）／亜細亜学園外国人留学生支援基金奨学金／亜細亜学園冠留学生奨学金

◆ASEAN諸国留学生奨学金

C方式合格者のうち、以下の条件を満たし合格通知とともに発送する奨学金申請書を提出した者に対し、Web面接を実施して選考します。選考により、奨学生として認められた場合には、学部4年間の学費全額、教材費および入学検定料、当初2年間の大学指定宿舍使用料を支給します。

（入学後、学年毎に成績基準による奨学金継続審査を行います。）

申請条件

- ①ASEAN諸国の国籍を持つこと（日本国籍を有さないこと。日本国内在住者は対象外）
- ②高等学校を卒業見込みの者、または卒業後1年未満の者
- ③日本語能力試験（JLPT）N2またはN1を取得している者

※詳細についてはインターナショナルセンター（0422-36-3255/kkcis@asia-u.ac.jp）に問い合わせてください。

●民間財団等の奨学金

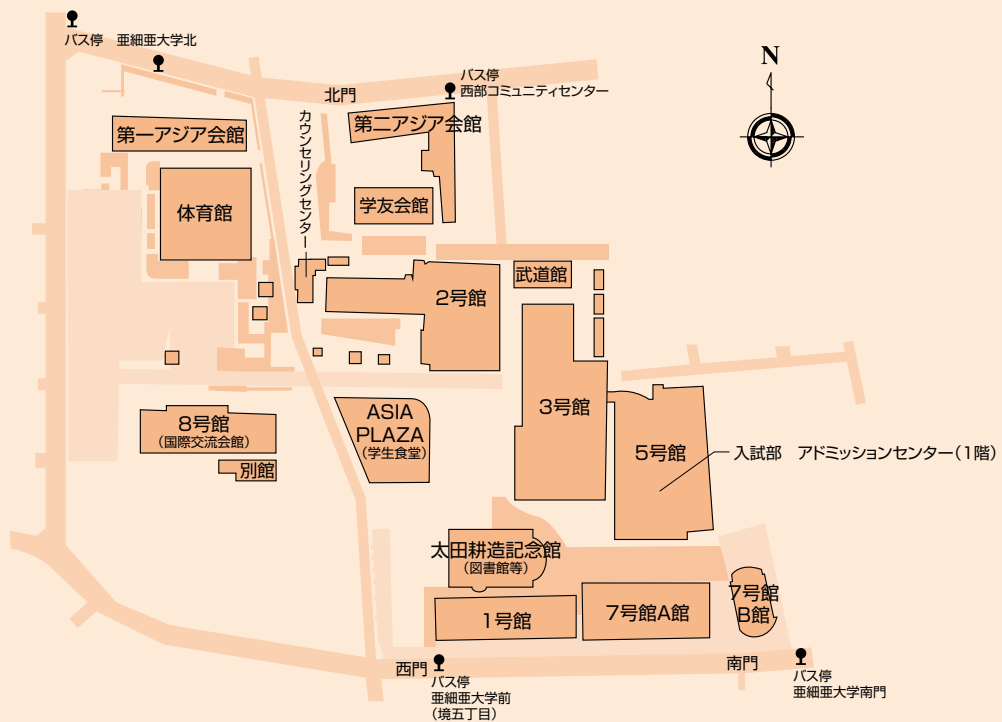
アシュラン国際奨学財団／アジア留学生奨学会／井内アジア留学生記念財団／インナートリップ国際交流協会／川嶋章司記念スカラーシップ基金／共立メンテナンス奨学基金／小林財団／春秋育英会／高澤三次郎国際奨学財団／日本国際教育支援協会（JEES）／日本汎太平洋東南アジア婦人協会（日本バシイワ）／長谷川留学生奨学財団／ヒロセ財団／平和中島財団／守谷育英会／ロータリー米山記念奨学会／綿貫国際奨学財団（ほか）

●その他の奨学金

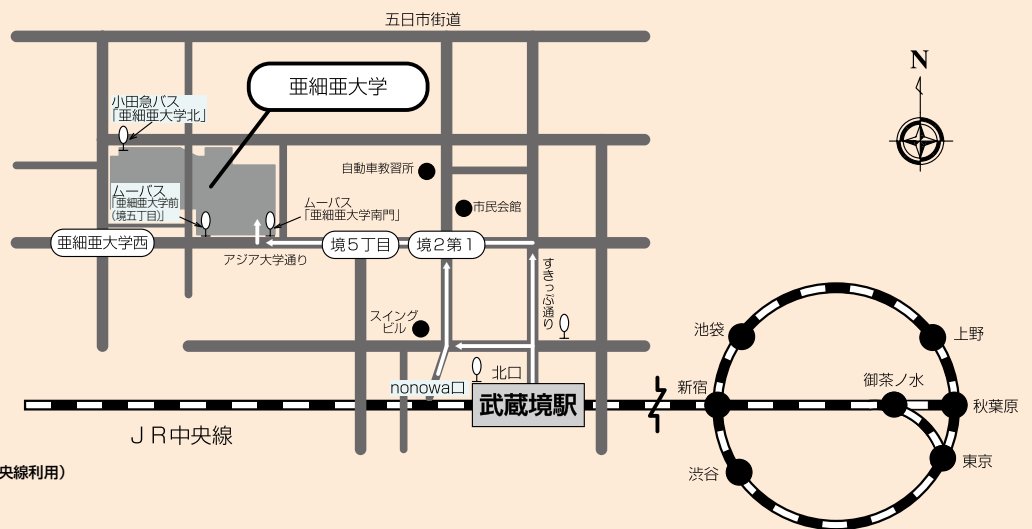
留学生受入れ促進プログラム（文部科学省外国人留学生学習奨励費）

学校案内図

【武蔵野キャンパス】



所在地案内図



交通案内

武蔵境駅まで

- 東京駅から約32分（JR中央線利用）
- 新宿駅から約19分（JR中央線利用）
- 大宮駅から約45分（JR埼京線・JR中央線利用）
- 千葉駅から約67分（JR総武線・JR中央線利用）
- 羽田空港から約64分（東京モノレール・JR山手線・JR中央線利用）
- 西武新宿線「田無駅」から約15分
（西武バス「武蔵境駅」行利用「武蔵境駅」（終点）下車）

※乗り換え時間は含まれていません。

武蔵境駅からキャンパスまで

- 北口またはnonowa口から徒歩12分

※駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。